

令和元年度 事業報告

I 事業の概要

1. 美術館開館事業

(1) 平成31年春季特別展 茶道具取合展「慶年の茶」

期 間 平成31年3月9日～令和元年6月9日（開館日数79日）

（平成31年度開館日数19日）

展示品 別紙展示目録の通り

(2) 令和元年秋季特別展 茶道具取合展「令和の秋」

期 間 令和元年9月3日～令和元年12月8日（開館日数85日）

展示品 別紙展示目録の通り

(3) 令和2年春季特別展 茶道具取合展「風光る」

期 間 令和2年3月3日～令和2年6月7日（新型コロナの影響で4月8日にて、終了）

（令和元年度開館日数 25日）

展示品 別紙展示目録の通り

(4) 入館者数、入館料収入

展示名	開館日数	入館者数							入館料収入
		一般	学生	団体			身障者 他	合計	
				一般	同門会	学生			
				¥600	¥400	¥500			
慶年の茶	60	667	30	939	127	0	39	1,802	938,850
令和の秋	85	1,010	47	882	172	71	82	2,264	1,164,500
風光る	25	162	16	13	13	0	13	217	115,950
令和元年度	170	1,839	93	1,834	312	71	134	4,283	2,219,300
(参考)30年度	155	1,795	142	1,783	397	4	120	4,241	2,205,150
29年度	155	2,135	120	1,866	397	6	114	4,638	2,442,450
28年度	151	2,038	137	1,780	571	85	102	4,713	2,450,050

注 同門会は表千家同門会会員

2. 四君子苑開苑事業

(1) 公開事業

春・秋の年2回(各6日間)と団体客向け特別公開を3日間、数寄屋建築・日本庭園・石造美術品を愛好家・茶道家・研究者などに広く公開を行った。

又、数寄屋建築内には当館の館蔵品の展示も行った。

公開日			
月	日	相手先	日数
4月	14日	特別公開(1団体)	8
	16日～21日	一般公開	
	25日	特別公開(1団体)	
10月	15日～20日	一般公開	6
11月	9日	特別公開(1団体)	1
合計			15

(2) 入苑者数、入苑料収入

公開年度	開苑日数	入苑者数	入苑料収入
令和元年度	15	1,350	2,025,000
平成30年度	20	1,544	2,275,600
29年度	14	1,368	2,052,000
28年度	12	1,355	2,032,500

3. 四君子苑貸出事業

相手先	日	場所	内容
(株)ミリエール (裏千家の関係会社) (株)パナソニックの若手 デザイナー	平成31年 2月7日	四君子苑母屋	旧松下電工が和の照明をミリエールの監修で発売した経緯で、若手デザイナーに日本文化を学ばせる機会として元京都工芸繊維大学教授の先生が講義を行い、見学があった。

4. 館外展示事業(お茶会)

館外展示茶会名	期間	場所
凡聖菴会	令和元年5月25日	大徳寺 三玄院
竜田会茶会	令和元年6月1日	熊本市 泰勝寺 細川邸
京都長生会	令和元年9月29日・30日	南禅寺
第4回神護寺茶会	令和元年10月27日	高雄山 神護寺

5. 館外展示事業(貸出)

展示会名	貸出美術品	展示期間	展示場所
没後 60年記念 北大路魯山人 古典復興 -現代陶芸をひらく-	北大路魯山人 銀彩色絵双魚文四方皿	平成31年4月27日 ～ 令和元年6月9日	碧南市藤井達吉 現代美術館
	北大路魯山人 絵瀬戸草虫文壺	令和元年7月2日 ～ 令和元年8月25日	千葉市美術館
	荒川豊蔵 こぼれ梅の漆椀	令和元年9月14日 ～ 令和元年12月1日	滋賀県立陶芸の森 陶芸館
美濃の茶陶	黄瀬戸蓋置 絵志野董橘文水指 畠山家伝来 重文 織部松皮菱手付鉢 益田鈍翁旧蔵	令和元年9月4日 ～ 令和元年11月10日	サントリー美術館
特別展「流転100年 佐竹 三十六歌仙絵と王朝の美」	重要文化財 佐竹本三十六歌仙 藤原仲文像一幅 重要文化財 青花高砂花入	令和元年10月12日 ～ 令和元年11月24日	京都国立博物館
(仮)今日庵文庫所蔵『三冊 名物記』にみる茶の湯の名 品	瀬戸金華山茶入 銘 広沢 一口	令和元年10月3日 ～ 令和元年12月8日	茶道資料館
「茶の湯の名碗 高麗茶碗」	金海割高台茶碗	令和元年9月14日 ～ 令和元年12月1日	三井記念美術館
リニューアル3周年記念特 別展 仁清の金と銀	重文 仁清色絵鱗波文茶碗	令和元年11月1日 ～ 令和元年12月10日	MOA美術館

6. 撮影掲載料(掲載)収入について

依頼先	雑誌・書籍名等	撮影掲載する館蔵品名
㈱山川出版社	図説 歴史散歩事典「改訂版」に掲載	宝篋印塔
㈱誠文堂新光社	しかけに感動する「京都名庭園」へ掲載	四君子苑全体の撮影
㈱淡交社	淡交テキスト「やきものを知る12のステップ」と題し、やきもの茶道具について、実用・歴史・技法の3方向から学ぶ企画(2019/7/1 発行)	織部松皮菱形手鉢(重要文化財)
㈱平凡社	別冊太陽「永遠なれ、魯山人」2章「異才魯山人の芸術」本文頁に掲載(2019/6/25 発行)	絵瀬戸草虫文壺(魯山人)
㈱淡交社	淡交テキスト「やきものを知る12のステップ」と題し、やきもの茶道具について、実用・歴史・技法の3方向から学ぶ企画(2019/8/1 発行)	古染付高砂花入(重要文化財)
㈱淡交社	月刊誌『なごみ』2019年9月号 特集「表装が語る美意識」に本文中挿図として使用	本阿弥光悦筆和歌色紙 俵屋宗達下絵「上弦の月に萩図」
㈱ハースト婦人画報	婦人画報8月号 特集 京都 庭を旅する 50ページ企画	四君子苑 画像1枚
㈱山川出版社	日本の伝統文化2浮世絵 著者 小林忠 (岡田美術館館長)	吉野太夫図
㈱NHKプロモーション	展覧会「利休のかたち- 継承されるデザインと心」(12/27 - 1/20、松屋銀座にて開催)の図録(12/27、淡交社 発行)に、参考図版として、掲載	金輪寺茶器 (利休在判)
㈱平凡社	別冊太陽「六古窯」特集	信楽焼 蹲(うずくまる) 姫御前
㈱ネクサス	「開運!なんでも鑑定団」橋本関雪筆 雪中鴉図の掛軸は鳶鴉図を意識して描いたとの解説の中での画像使用(2019.10.16 放映)	与謝蕪村 絵本墨画淡彩 鳶鴉図双幅 (重要文化財)
㈱淡交社	『京都名筆散歩』 中村史朗著 (R1.12.1 刊行)	大字朗詠(和漢朗詠集 上巻断簡)
㈱淡交社	善田のぶ代著「古染付と祥瑞 その受容の様相」に掲載のため (令和2年2月末日 発行)	古染付高砂花入(重要文化財)
デナリパブリッシング㈱	依頼者は月間『遠州』の茶道雑誌を制作しており「遠州茶会の客達」(深谷信子著)内にて写真の掲載希望があったもの	桜散るの文
日本文教出版㈱	「考える力を育む美術教材『デジタルアートカード』においてDVD-ROMにて学校の教材とする	与謝蕪村 絵本墨画淡彩 鳶鴉図双幅 (重要文化財)
一般社団法人日本石材産業協会	お墓ディレクター検定用テキスト『お墓の教科書 改訂 2020 年版』に写真掲載する	宝篋印塔
公益財団法人日本陶磁協会	『陶説』12月号(800号)の特集「国宝」に掲載(R1.12.1 発行)	古信楽 赤壺 銘 姫御前
㈱淡交社	「京都名筆散歩」の図版に使用	北大路魯山人 金泥竹下絵五行詩

7. 撮影掲載料(撮影)収入について

依頼先	撮影目的	出版物 または、放送内容		撮影掲載する館蔵品名
NHK奈良放送局	吉野杉の「こけら板」の 拡販に取り組んでいる 「吉野かわかみ社中」 前田氏の紹介	NHK テレビ放送	ならナビ7月2日 おはよう関西 7月4日	四君子苑 珍散蓮の柿(こけら)
NHKプラネット 近畿総支社	京都国立博物館で開 催される特別展「流転 100年佐竹本三十六歌 仙絵と王朝の美」の関 連番組「歴史秘話ヒス トリア」の放映	NHK テレビ放送 (総合・全 国)	10月23日(水)午 後 10:30~11:20	佐竹本三十六歌仙「藤原仲 文」を看大の間茶室で撮影 (撮影料は無し)
日本放送協会 (株)アマゾンラテルナ	看大の間で撮影した 内容をBS8K特集番組 「響きあう美 佐竹三十 六歌仙絵」として放送	NHK テレビ放送 ①BS8K ②総合テレ ビ	①10月27日(日) 19:00 ②11月3日(日) 7:45 関西 ③11月9日(土) 15:5 全国	8Kで佐竹本三十六歌仙「藤 原仲文」を看大の間茶室で撮 影
NHK大阪放送局	看大の間で撮影した 内容を一部日曜美術 館でも放送する	NHK テレビ放送 Eテレ	11月10日(日) 9:00~9:45	佐竹本三十六歌仙「藤原仲 文」を看大の間茶室で撮影
(株)マガジンハウス	マガジンハウス発刊の月 刊誌「カーサブルータ ス」に掲載するため。 現代美術作家・杉本博 司が四君子苑全体を 下見し、写真家小野祐 次が撮影	カーサ ブルータス	令和2年3月号	四君子苑の室内及び茶苑及 び石造美術品を撮影し、 その中から選択し掲載
(株)シーシービジョン 趙華行 (チョウファヘン)	「プルスム」(火の息吹) 陶芸家 チョン・ハンホンの ドキュメンタリー映画撮 影と同時に出版予定 の写真集に、掲載のた め	令和2年秋 に公開・出 版予定	「プルスム」(火の息 吹)陶芸家 チョン・ ハンホンのドキュメ ンタリー映画、写 真集	茶碗 金海猫搔手
(株)淡交社	「なごみ」(3月号) 特集「古信楽の美」	「なごみ」(令和2年3月号) 特集「古信楽の美」 に掲載		古信楽「姫御前」 信楽面取矢筈口